

(単位：千円)

決算書 (P366～P367)	10 款 5 項 6 目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	春日山城跡保存整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
13,345	13,280				110 (都附金)	13,170
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	65				65	

【目的】

春日山城跡を風雨等による損傷から守り、適切な維持管理を行うとともに、地域学習の教材として利活用を図る。

令和 3 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

- ・土砂崩落や倒木等による遺構損傷を防ぎ、城跡の保存を図るため、適切な雨水処理や植生管理等に取り組む。
- ・土の一袋運動等により、市民協働で城跡保全に取り組む。
- ・史跡保護のため、鳥獣被害対策に取り組む。
- ・曲輪や空堀、土塁など山城の特徴を体感できるよう修景に取り組む。
- ・春日山城跡ものがたり館入館者数：17,000人

○実施内容、これまでの経過等

[実施内容]

(1) 維持管理

- ・草刈りや低木伐採などの景観整備
- ・春日山パトロール維持管理人等による日常点検、修繕等
- ・遊歩道の修繕、大雪後の倒木処理等
- ・鳥獣被害対策（イノシシ対策）
- ・春日山城史跡広場及び春日山城跡ものがたり館等の管理

委託先：春日山城史跡広場管理組合

(地元5町内〔大豆、春日、中門前、谷愛宕、春日野〕で組織)

内 容：史跡広場及び史跡保存用地の草刈り、修繕（広場内の腐食した杭・木柵等の交換）、施設管理（受付、案内、清掃業務）、大手道の維持管理等

(2) 活用

- ・市民団体や地元小中学校との協働による土の一袋運動や松葉かきの継続
- ・散策会（まいぶん春日山講座）の実施（3回）
- ・「日本100名城」スタンプラリーの参加者：4,457人（令和2年度 4,536人）

決算書 (P366～P367)	10 款 5 項 6 目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	春日山城跡保存整備事業		

[これまでの経過]

- ・昭和 10 年 8 月 27 日 春日山城跡が国史跡に指定 (408, 102. 83 m²)
- ・昭和 49 年 3 月 18 日 追加指定 (54, 236. 13 m²)
- ・昭和 55 年 3 月 『史跡春日山城跡保存管理計画』策定
- ・昭和 55 年 3 月 14 日 追加指定 (11, 587. 29 m²)
- ・平成 8 年 6 月 28 日 春日山城史跡広場・春日山城跡ものがたり館をオープン
- ・平成 11 年 3 月 「春日山城跡整備 5 か年計画」を策定 (平成 30 年度終了)
- ・平成 12 年 3 月 7 日 追加指定 (112, 241. 29 m²)
- ・平成 21 年 3 月 改訂『史跡春日山城跡 保存管理計画書』を策定

○施設の管理実績 (春日山城跡ものがたり館)

- ・利用者数等

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
			計画	実績
入館者数	26, 122 人	16, 475 人	17, 000 人	16, 903 人

- ・施設管理における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—
	合計	—	—	—	—
②支出	施設維持管理費	5, 002	5, 323	5, 619	5, 571
	うち委託料	3, 472	3, 676	3, 808	3, 808
	その他	2, 574	2, 475	2, 483	2, 483
	合計	7, 576	7, 798	8, 102	8, 054
③公費投入額 (②－①)		7, 576	7, 798	8, 102	8, 054
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位: 円)		290	473	476	476

○目標達成状況

入館者数は 16, 903 人となり、目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

- ・春日山城跡では、城跡保全に不可欠な雨水処理や植生管理、鳥獣被害対策等、必要な維持管理を実施し、城跡の保護を図ることができた。
- ・草刈りや土の一袋運動などを地域団体や小中学校等の協力を得て実施することにより、山城景観の維持管理を図るとともに、城跡の保護活動を通じて、子どもたちの郷土の史跡に対する愛着を深めることができた。
- ・講座の開催や小中学校との連携により、地域学習の教材としての利活用を図ることができた。
- ・春日山城跡史跡広場管理組合への委託により、春日山城跡史跡広場や大手道及び春日山城跡ものがたり館の管理を適切に行い、良好な環境を維持することができた。

決算書 (P366～P367)	10款5項6目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	春日山城跡保存整備事業		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・入館者数目標を達成できなかった主な要因は、年間を通じ新型コロナウイルス感染症の影響が続いたことによる。
- ・引き続き、施設の新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できるよう、適切な管理運営を行う。
- ・史跡としての価値を損ねることのないよう、引き続き、広大な史跡用地の良好な環境の保全に努める。

【執行残額について】

○その他 65

・報酬、報償金	11
・費用弁償、普通旅費	14
・消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料	21
・通信運搬費	1
・委託料	1
・使用料、借上料	2
・工事請負費	11
・諸資材費	4



市民団体と小学生による松葉かきの様子



春日山城史跡広場 土塁の草刈りの様子

(単位：千円)

決算書 (P366～P367)	10 款 5 項 6 目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	市内遺跡発掘調査事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
11,591	10,290	5,137	984			4,169
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,301			147	1,154	

【目的】

各種開発事業から遺跡を保護するため、発掘調査を行い、開発事業との円滑な調整を図る。

令和 3 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・ 県営ほ場整備事業や集合住宅建設事業等の開発地内で試掘・確認調査を実施した。
- ・ 試掘・確認調査等の結果は、市内発掘調査概要報告書として刊行した。

<試掘調査>埋蔵文化財の有無を確認するための調査

(単位：㎡)

開発事業	所在地	調査対象面積
県営ほ場整備事業・中江有田地区	大字三田新田ほか	176,000
県営ほ場整備事業・石沢地区	大字石沢ほか	190,000
県営ほ場整備事業・島田地区	大字島田	135,000
県営ほ場整備事業・原之町地区	吉川区原之町	110,000
県営ほ場整備事業・東潟地区	吉川区下八幡ほか	320,000
都市計画道路・黒井藤野新田線建設	大字三田新田ほか	54,000
上越魚沼地域振興快速道路建設・末野工区	三和区末野	13,000
県営農村地域防災減災事業・針地区	板倉区針	2,500
合計		1,000,500

<確認調査>周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲、内容等を確認するための調査

(単位：㎡)

遺跡名(開発事業)	所在地	調査対象面積
北原B遺跡(都市計画道路黒井藤野新田線)	大字三田新田	54,000
釜蓋遺跡(集合住宅建設)	大和5丁目	1,854
春日山城跡(個人住宅建設)	大豆	414
高田城跡(上越教育大学附属中学校内施設整備)	本城町	900
合計		57,168

決算書 (P 366～P 367)	10 款 5 項 6 目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	市内遺跡発掘調査事業		

【事業の成果】

- ・事業主体との調整を円滑に行い、工法変更等による現地保存や発掘調査による記録保存により遺跡の保護を図ることができた。
- ・釜蓋遺跡史跡指定地に隣接する南側の一部において竪穴建物跡などが検出され、釜蓋遺跡の範囲が南側に広がることが明らかとなった。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・今後も事業主体との調整を円滑に行い、遺跡の保護に努める。
- ・釜蓋遺跡については、遺跡の範囲の把握に努める。

【執行残額について】

○入札差金	147
・印刷製本費	
○その他	1,154
・報酬、期末手当、社会保険料	56
・費用弁償、普通旅費	12
・消耗品費、燃料費、印刷製本費	111
・委託料	846
・借上料	121
・諸資材費	8



釜蓋遺跡史跡指定地に隣接する南側
確認調査風景



県営ほ場整備事業・中江有田地区
試掘調査風景

(単位：千円)

決算書 (P366～P369)	10款5項6目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	ほ場整備等遺跡発掘調査事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
19,828	17,048		17,048			
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,780			301	2,479	

【目的】

県営ほ場整備事業等の開発事業地内において遺跡の発掘調査を行い、記録保存する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・上越魚沼地域振興快速道路事業地内における本発掘調査及び整理作業を実施した。

<本発掘調査>

(単位：㎡)

遺跡名(開発事業)	所在地	調査面積
柘形城跡(上越魚沼地域振興快速道路事業)	三和区末野地内	895

<整理作業>

遺跡名(開発事業)	調査地
神田原山窯跡(上越魚沼地域振興快速道路事業) ※令和元年度に本発掘調査実施	三和区神田地内
原山遺跡(上越魚沼地域振興快速道路事業) ※令和2年度に本発掘調査実施	

【事業の成果】

本発掘調査及び整理作業については計画どおり進めることができた。また、調査結果については、発掘調査報告会を通じ周知するなど、地域の歴史に関する理解や関心を深める契機とすることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

神田原山窯跡と原山遺跡、柘形城跡の整理作業を計画的に進め、発掘調査報告書を刊行する。

決算書 (P 366～P 369)	10 款 5 項 6 目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	ほ場整備等遺跡発掘調査事業		

【執行残額について】

○入札差金	301	
・委託料		
○その他	2,479	
・報酬、期末手当、社会保険料、報償金	526	
・費用弁償	299	
・消耗品費、燃料費、印刷製本費	809	
・手数料	11	
・借上料	834	



榊形城跡（上越魚沼地域振興快速道路事業）
本発掘調査風景



原山遺跡（上越魚沼地域振興快速道路事業）
整理作業風景

(単位：千円)

決算書 (P368～P369)	10款5項6目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	埋蔵文化財センター管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
11,239	10,799				51 (使用料 財産収入 諸収入)	10,748
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	440			62	378	

【目的】

埋蔵文化財の保護のため、調査研究・保存管理・普及公開を行うとともに、小中学校の総合的な学習の時間や春日山城跡・春日山城跡ものがたり館などを結ぶ歴史巡りのルートとして利活用を図り、郷土の歴史に関する理解を深めてもらう。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

入館者数：22,000人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 施設の維持管理

(2) 施設利用学習の実施

・施設利用学習…41件 (1,179人 春日小学校、春日新田小学校など)

(3) 展示の実施

・常設展「謙信公の見た頸城―戦国時代のまちとむら―」を開催(継続)

・「越後上越 謙信公と春日山城展」を開催(継続)

(観光交流推進課事業 令和3年4月1日～令和4年3月31日)

・企画展「古代の頸城」を開催(令和3年7月24日～令和4年2月28日)

○施設の管理実績

・利用者数等

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			計画	実績
入館者数	33,312人	20,298人	22,000人	23,051人

決算書 (P368～P369)	10款5項6目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	埋蔵文化財センター管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
			予算	実績	
①収入	使用料収入	8	-	4	13
	その他	-	21	18	38
	合計	8	21	22	51
②支出	施設維持管理費	7,506	8,799	10,616	10,225
	うち委託料	1,804	2,359	1,994	1,983
	その他	346	318	623	574
	合計	7,852	9,117	11,239	10,799
③公費投入額 (②-①)		7,844	9,096	11,217	10,748
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		235	448	510	466

○目標達成状況

入館者数は23,051人となり、目標を達成することができた。

【事業の成果】

- ・縄文時代から戦国時代の資料を始め、春日山城跡に関連する資料を展示することで、当市の歴史、魅力を伝えることができた。
- ・埋蔵文化財保護の拠点として、調査研究、保存管理及び普及公開を行うとともに、小中学校の施設利用学習の場として供することで、地域への誇りや愛着の醸成に寄与した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・引き続き、施設の新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できるよう、適切な管理運営を行う。
- ・春日山城跡に関連する資料も含め展示資料の充実を図り、入館者数の維持に努める。
- ・市内小中学校等へ施設利用学習や総合的な学習の時間等での活用をPRし、児童生徒が埋蔵文化財に触れる機会を提供していく。

【執行残額について】

○入札差金	62
・修繕料	51
・委託料	11
○その他	378
・報酬、期末手当、社会保険料	2
・費用弁償、普通旅費	44
・消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費	184
・通信運搬費、手数料、保険料	19
・使用料、借上料	127
・備品購入費	1
・自動車重量税	1

(単位：千円)

決算書 (P368～P369)	10 款 5 項 6 目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	「弥生のムラ」コミュニティパーク事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
16,616	15,976	40			80 (譲収入)	15,856
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	640			2	638	

【目的】

北陸新幹線上越妙高駅に近接する国指定史跡吹上遺跡・釜蓋遺跡の保存・活用を図る。

令和 3 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和 3 年度目標

- ・釜蓋遺跡発掘調査総括報告書としてまとめた成果を報告会等で周知することにより、市民に郷土への関心や理解を深めてもらう。
- ・釜蓋遺跡ガイダンス入館者数：12,000 人

○実施内容、これまでの経過等

平成 20 年 7 月 28 日 吹上遺跡と釜蓋遺跡が国の史跡に指定される。

平成 27 年 3 月 24 日 吹上遺跡の出土品 (1,320 点) が新潟県有形文化財 (考古資料) に指定される。

平成 27 年 4 月 16 日 釜蓋遺跡公園開園

(1) 活用

- ・施設への来館が困難な小学校等には、職員による出前授業を実施した。
(新型コロナウイルスの影響により吹上・釜蓋遺跡応援団との連携による体験活動やイベントは中止)

(2) 維持管理

- ・釜蓋遺跡ガイダンスの維持管理の実施
- ・吹上遺跡及び釜蓋遺跡の草刈りなど史跡内の維持管理の実施

○施設の管理実績

- ・利用者数等

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	
			計 画	実 績
利用者数	21,011 人	8,934 人	12,000 人	8,973 人
体験者数	4,238 人	-	-	-

決算書 (P368～P369)	10款5項6目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	「弥生のムラ」コミュニティパーク事業		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	—	—	—	—
	その他	218	73	130	120
	合計	218	73	130	120
②支出	施設維持管理費	14,013	13,196	14,605	14,247
	うち委託料	7,108	7,288	7,320	7,319
	その他	1,224	907	2,011	1,728
	合計	15,237	14,103	16,616	15,976
③公費投入額 (②-①)		15,019	14,030	16,486	15,856
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		715	1,570	1,374	1,767

○目標達成状況

入館者数は8,973人となり、目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

定期講座を始め体験学習、小学校等への出前授業により、地域の歴史に関する理解や関心を深める契機とすることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・入館者数目標を達成できなかった主な要因は、年間を通じ新型コロナウイルス感染症の影響が続いたことによる。
- ・引き続き、施設の新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、利用者が安全・安心に利用できるよう、適切な管理運営を行う。
- ・今後も定期講座や体験学習など活用事業を通じ、吹上遺跡・釜蓋遺跡の周知を図る。
- ・釜蓋遺跡ガイドンスや公園において、吹上・釜蓋遺跡応援団と連携した活動を展開することにより吹上遺跡・釜蓋遺跡の魅力を発信する。

【執行残額について】

○入札差金 2

- ・委託料

○その他 638

- ・報酬、期末手当、社会保険料、報償金 183
- ・費用弁償、普通旅費 102
- ・消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費 253
- ・通信運搬費 33
- ・使用料、借上料 67

(単位：千円)

決算書 (P368～P369)	10款5項6目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	歴史的建造物等整備支援事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,370	4,318				4,293 (財源収入、 寄附金、 繰入金)	25
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	52				52	

【目的】

市民団体等が行う歴史的建造物等の整備に対し、補助金を交付することにより、歴史的建造物等の保存と活用を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

歴史的建造物等整備支援事業補助金の交付件数：1件

○実施内容、これまでの経過等

[制度概要]

- ・対象事業：歴史的建造物及び産業遺産の保全又は改修に係る事業で、主体的なまちづくり活動による地域コミュニティの形成に資するもの
- ・補助率：3/4（限度額7,500千円）
- ・財源：歴史的建造物等整備支援基金
- ・認定：建築や歴史の専門家で構成する選定審査会の答申を経て対象事業を認定
- ・交付決定：認定後、補助金交付申請に基づき交付を決定

[実施内容]

- ・歴史的建造物等整備支援事業選定審査会の開催（1回） 25
- ・歴史的建造物等整備支援事業補助金交付（1件） 4,265
- ・基金への積立て 28
 - （内訳）歴史的建造物等整備支援基金利子 8
 - 歴史的建造物等整備支援事業寄附金 20

決算書 (P 368～P 369)	10 款 5 項 6 目 文化財保存調査費	所管課等	文化行政課
事業名	歴史的建造物等整備支援事業		

[補助金の交付内容]

事業名	整備の内容	交付額
「麻屋高野」 警女資料館整備事業 (単年度事業)	国登録有形文化財 麻屋高野で運営されている「警女ミュージアム高田」の資料収蔵と展示入替等に必要なスペースを確保するため、ウシロニカイ内部を改修	4,265

○目標達成状況

歴史的建造物等整備支援事業補助金の交付件数は1件で目標を達成することができた。

【事業の成果】

市民団体等が行う歴史的建造物等の整備に対し補助金を交付することにより、歴史的建造物等の保存と活用を推進することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

市内の歴史的建造物等の現状や活用の動向について継続的に情報収集を行っていく。

【執行残額について】

○その他 52

- ・報償金 25
- ・費用弁償、普通旅費 26
- ・積立金 1



ウシロニカイ改修後



収蔵庫入口



収蔵庫内部

(単位：千円)

決算書 (P370～P371)	10 款 6 項 1 目 保健体育総務費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	保健体育総務費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
11,283	10,177				10 (財産収入)	10,167
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,106		310		796	

【目的】

- ・市民の幅広いスポーツ・レクリエーション活動を推進するため、市のスポーツ推進施策に関する調査・審議を行う。
- ・市民のスポーツや健康に対する意識の高揚を図り、生涯スポーツ活動を推進する。
- ・市民にスポーツイベントの運営補助や実技指導の補助等に参加する機会を提供し、スポーツ活動に対する意識を高めるとともに、スポーツ推進の担い手を育成する。

令和 3 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

スポーツ推進審議会 155

○令和3年度目標

上越市総合教育プランに基づく取組の適切な進捗管理及びスポーツの推進に関する意見を把握する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・スポーツ推進審議会(委員14人)を年に3回開催した。
- ・上越市第2次総合教育プランに基づく取組に関する審議を行った。

○目標達成状況

生涯スポーツや競技スポーツの推進に向けた諸課題について意見を伺い、上越市第2次総合教育プランの後期実施計画の取組について協議を行った。

スポーツ推進委員 4,106

○令和3年度目標

市民への実技指導や行事等に参画し、地域スポーツの推進役として活動する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・コロナ禍での新しい生活様式を取り入れたスポーツ教室や健康教室等の企画・運営に携わるとともに、地域のまちづくり団体や学校からの依頼に基づき、様々なイベント等に参画した。
- ・令和3年11月20日(土)に上越市身体障害者連絡協議会、上越市レクリエーション協会と共に「誰でも楽しめるニュースポーツ体験会」を実施した。

決算書 (P370～P371)	10 款 6 項 1 目 保健体育総務費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	保健体育総務費		

○目標達成状況

出前講座の派遣回数は昨年度を大きく上回り、広く市民にスポーツの機会を提供することができた。

<スポーツ推進委員による出前講座の実施状況>

(単位：回・人)

項目	令和2年度		令和3年度		比較増減	
	回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数
スポーツ教室等	67	1,531	138	2,747	71	1,216
健康教室	10	325	28	544	18	219
体力測定会(※)	-	-	8	151	8	151
合計	77	1,856	174	3,442	97	1,586

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は体力測定会を中止



出前講座
(カローリング)



ニュースポーツ体験会
(ターゲットバードゴルフ)

スポーツボランティア登録制度 3

○令和3年度目標

スポーツボランティア参加延べ人数：100人

○実施内容、これまでの経過等

令和3年度のスポーツボランティア登録者は17人いたが、ボランティアの参加を予定していた高田城ロードレース大会やファミリー綱引大会などが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、全て中止となった。

○目標達成状況

参加を予定していたスポーツイベントの中止に伴い、活動の場がなかったため未達成となった。

その他 5,913

会計年度任用職員報酬、郵便料、広告料、損害賠償金等

決算書 (P370～P371)	10款6項1目 保健体育総務費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	保健体育総務費		

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染症の影響により、市民のスポーツ活動も制約を受ける中で、国や県、競技種目別の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン等を参考に感染症対策を行い、スポーツ推進委員や各競技団体等がコロナ禍での新しい生活様式を取り入れたスポーツ活動の在り方を提案するなど、各種スポーツ教室やイベントを支援することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

新しい生活様式を踏まえたスポーツ教室やイベントの実施、大会の開催を支援することで、スポーツや健康に対する意識の高揚を図りながら、市民のスポーツ活動を推進していく必要がある。

【執行残額について】

○事業未実施	310(新型コロナウイルス感染症による事業中止による減)
・報償費	31
・旅費	80
・消耗品費	46
・役務費	1
・委託料	39
・使用料及び賃借料	56
・負担金補助及び交付金	57
○その他	796
・報酬	300
・職員手当等	81
・共済費	34
・旅費	117
・燃料費	58
・消耗品費	6
・役務費	198
・負担金補助及び交付金	1
・損害賠償金	1

(単位：千円)

決算書 (P370～P373)	10款6項2目 学校保健管理費	所管課等	学校教育課
事業名	学校保健管理費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
115,777	109,183	165	1,182		7,788 (負担金、譲収入)	100,048
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
605	5,989				5,989	

【目的】

園児、児童生徒及び教職員の健康の保持増進と、安全で快適な学校環境の整備を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

健康診断の実施 58,746

○令和3年度目標

- ・健康診断が適切かつ円滑に実施できるように、関係機関と適切な連携を図る。
- ・全ての教職員がストレスチェックを受検し、高ストレス者が希望する場合は面接医による面接指導を実施する。
- ・検診器具の破損状況を確認するとともに、児童生徒の体格等にあった検診器具を配当できるようにする。
- ・業務補助員を適切に配置し、検診業務が円滑に実施できるようにする。

○実施内容、これまでの経緯等

- ・幼児、児童、生徒、教職員の健康診断を学校教育法及び学校保健安全法に基づき適切に実施した。
- ・幼児、児童、生徒には、学校医による内科、歯科、耳鼻科、眼科検診を実施するとともに、検査機関に委託して尿検査、心臓検査（幼児を除く。）を実施した。
- ・教職員には、検査機関に委託して胸部エックス線検査、尿検査、心臓検査、血液検査等を実施した。
- ・労働安全衛生法に基づき、教職員を対象にストレスチェックを検査機関に委託して実施し、高ストレス者には、面接指導を勧め、希望者へ面接指導を実施した。
- ・教職員ストレスチェックの実施結果
 受検率：調査対象者の83.2%（前年比2.8%減） 1,029人／1,237人
 高ストレス判定率：6.0%（前年比0.5%減） 62人／1,029人
 面接指導実施率：16.1%（前年比10.5%増） 10人／62人
 （参考）休職中の教職員数：7人（前年比1人増）
- ・健康診断に使用する器具の滅菌作業を実施するとともに、感染症対策に要する数の検診器具を整備した。
- ・健康診断の業務繁忙期に、児童生徒数の多い学校へ業務補助員を配置した。

決算書 (P370～P373)	10 款 6 項 2 目 学校保健管理費	所管課等	学校教育課
事業名	学校保健管理費		

○目標達成状況

- ・児童生徒及び教職員の健康診断を学校保健安全法に基づき円滑に実施した。
- ・ストレスチェックの結果、高ストレス者に面接指導を周知し、希望者に面接指導を実施した。
- ・適切な方法で検診器具を滅菌消毒するとともに、劣化破損状況やコロナ対策の必要性に応じて健診器具を補充し、整備に努めた。

歯科保健事業 6,467

○令和3年度目標

歯科衛生士派遣事業を継続し、歯科保健教育の推進を図る。

○実施内容、これまでの経緯等

- ・幼稚園、小中学校へ学級数に応じた歯科衛生士を派遣し、歯肉炎予防に重点を置いたブラッシング指導を実施した。新型コロナウイルス感染症対策により、実技の部分は行わず、講義形式の指導とした。
- ・国の方針及び県のマニュアルに基づき、フッ化物洗口を希望する幼児、児童生徒に対し、医療用医薬品を使用してフッ化物洗口を実施した。

○目標達成状況

- ・全ての幼稚園、小中学校の対象学年の学級数に応じた歯科衛生士を派遣し、口腔衛生における歯肉炎予防に重点を置いた指導を行うことで、歯科保健教育の充実を図ることができた。
- ・令和3年度歯肉炎罹患率は小学校で0.6%（増減なし）、中学校で2.2%（前年比0.5%増）と、前年度よりわずかに増加した。

生活習慣病予防教育の推進 6,118

○令和3年度目標

- ・血液検査を市内全小学5年生及び中学2年生の希望者を対象に実施し、生活習慣改善指導と生活習慣病予防教育の推進を図る。
- ・ライフスタイル調査を実施し、児童生徒の生活習慣の実態を把握する。
- ・平成30年度の小学5年生の血液検査結果と令和3年度の中学2年生の血液検査結果を比較することで経年変化を分析し、ライフスタイル調査にもデータを活用する。

○実施内容、これまでの経緯等

- ・希望者を対象に、小学5年生に脂質検査、中学2年生に脂質検査と貧血検査を全額公費負担で実施した。
- ・血液検査実施の前後において、保健師や栄養士、養護教諭が児童生徒及び保護者に対し、血液検査の必要性や重要性について事前指導を行うとともに、検査結果を踏まえ、学級活動における集団事後指導を実施したほか、学校の個別面談、PTAなどの機会を利用して個別事後指導を実施した。
- ・3年に一度のサイクルで実施する市内全小・中学生を対象としたライフスタイル調査を実施した。

○目標達成状況

- ・血液検査の実施率は小学5年生87.9%（前年比4.2%増）、中学2年生84.3%（前年比4.9%増）であり、小・中学生ともに実施率が大きく増加した。

決算書 (P370～P373)	10款6項2目 学校保健管理費	所管課等	学校教育課
事業名	学校保健管理費		

- ・また、実施率の増加により、児童生徒の血液の状態の全体把握が拡大し、血液の状態が心配な状況にある児童生徒について保健師等による検査後の指導や医療機関の受診につなげることができた。
- ・ライフスタイル調査実行委員会を立ち上げ、市内の全小中学生を対象に生活リズムや食事、メディアとの関わりなどについて調査を実施し、その結果を報告書とリーフレットにまとめ、関係各所への配布及びホームページへの掲載ができた。

自動体外式除細動器（AED）の保守管理 1,788

○令和3年度目標

AEDが常に正常な状態で使用可能であり、社会体育等の活動においても使用できるようにする。

○実施内容、これまでの経緯等

- ・AEDが、常に正常な状態で作動するよう、業者に委託して保守点検を実施した。
- ・校外学習や学校行事での使用を希望する学校へ教育委員会が所有するAEDを貸し出した。

○目標達成状況

保守点検を実施し、市立幼稚園、小中学校に設置してあるAEDを常に正常な状態で維持し、社会体育等の活動においても使用できるようにしたが、実際にAEDの使用が必要な事案はなかった。

保健室備品の整備 1,725

○令和3年度目標

体調の悪い児童生徒等が安心して休養できるよう、必要な備品を購入・配備し保健室の環境を維持する。

○実施内容、これまでの経緯等

- ・老朽化などにより使用困難で優先度の高い洗濯機やデジタル体重計などの健康診断用備品から計画的に購入した。
- ・保健室寝具を清潔な状態で使用できるよう、業者に委託してクリーニングを実施した。
- ・聴力検査が正確に実施できるよう、オージオメータの点検・修繕を行った。

○目標達成状況

各学校の現状を確認し、使用困難となっている備品を計画的に購入し、保健室の環境を整備することができた。

学校環境衛生検査の実施 12,675

○令和3年度目標

- ・全ての学校において、学校薬剤師と連携し、学校環境衛生検査を円滑に実施する。
- ・検査測定器具や検査消耗品について優先度の高いものから整備を進める。

○実施内容、これまでの経緯等

- ・学校薬剤師と連携し、学校保健安全法に基づく学校環境衛生検査を実施した。
- ・検査機関に委託し、教室の空気検査及びプール水質検査を実施した。

決算書 (P370～P373)	10款6項2目 学校保健管理費	所管課等	学校教育課
事業名	学校保健管理費		

○目標達成状況

市立幼稚園及び全小中学校において、学校薬剤師と連携して学校保健安全法に基づく学校環境衛生検査を実施し、適切な環境の維持管理に努めた。

保健室衛生材料費 7,003

○令和3年度目標

新型コロナウイルス感染症を始めとした、学校における感染症予防対策の充実を図るとともに、緊急対応ができるよう救急薬品、衛生材料の整備に努める。

○実施内容、これまでの経緯等

- ・学校における感染症対策用の物品や消毒液、健康診断において医師や業務補助員が使用する感染症予防具、けがの手当て等に使用する医薬品や衛生材料等を確保できるよう、幼児、児童生徒数や学級数に応じて各学校へ購入費を配当した。
- ・インフルエンザによる学年、学級閉鎖等の措置状況（学校数と延べ学級数）
令和元年度 小学校 38校 128学級、中学校 10校 22学級
令和2・3年度 閉鎖措置なし
- ・感染性胃腸炎による学年、学級閉鎖等の措置状況
令和元年度 小学校 4校 9学級
令和2・3年度 閉鎖措置なし
- ・新型コロナウイルス感染症罹患者
令和2年度 1名（疑い4名）
令和3年度 733名（疑い413名）
- ・学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル「学校の新しい生活様式」に基づき、各校において新型コロナウイルス感染症対策のための消毒液や物品を購入した。

○目標達成状況

- ・感染症の予防対策及び拡大防止のために、必要な消毒薬や消毒液、物品等を確保・購入し、感染症予防を積極的に進めた。
- ・救急処置に必要な薬品や衛生材料を購入した。

災害賠償補償保険への加入負担など 14,661

○実施内容、これまでの経緯等

- ・幼児、児童生徒が学校の管理下で負傷した場合に医療費の災害給付を行うため、日本スポーツ振興センター及び全国市長会の保険に加入した。
- ・災害給付額 日本スポーツ振興センター分 延べ1,438人 11,145千円
全国市長会分 20人 406千円

【事業の成果】

- ・学校医や検診機関と連携しながら学校教育法及び学校保健安全法に基づいて適切に健康診断を実施し、疾病の予防処置、治療勧告を行うことができた。
- ・歯科保健事業では、歯科衛生士による歯肉炎予防の指導及びフッ化物洗口を適切に実施することができ、小中学校ともに歯肉炎罹患率が令和2年度とほぼ同程度だった。

決算書 (P370～P373)	10款6項2目 学校保健管理費	所管課等	学校教育課
事業名	学校保健管理費		

- ・生活習慣病予防教育の推進では、血液検査の結果を保健師、栄養士による血液検査前後の保健指導に活用することができた。血液検査実施率は、小・中学生で増加し、中学生では目標値に達した。
- ・保健室備品の整備では、使用困難となった備品等を入れ替え、保健室の環境整備に努めた。
- ・学校薬剤師や委託業者と連携して学校環境衛生検査を実施することで、児童生徒にとって安全で望ましい学習環境の維持に努めることができた。
- ・新型コロナウイルス感染症対策として、学校での予防対策を講じることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・環境衛生検査で使用する検診検査器具については、老朽化が進んでいる器具があることから、計画的に入れ替える必要がある。
- ・適切に耳鼻科及び歯科の検診ができるよう、老朽化した器具を継続的に入れ替える必要がある。
- ・新型コロナウイルス感染症などの感染症に対応するため、予防対策の徹底、消毒液や必要物品の計画的な購入及び保健室の休養スペースの備品の整備が必要である。
- ・血液検査の実施率を向上させるため、血液検査事前指導にて実施に向けた啓発を図るとともに血液検査の結果を踏まえた血液検査事後指導を引き続き実施し、生活習慣病予防に向けた保健指導に活用する。
- ・各学校・園において、新型コロナウイルス感染症対策を徹底する。

【執行残額について】

○その他	5,989	
・報酬		2,009
・役務費		1,098
・補償、補填及び賠償金ほか		2,882

(単位：千円)

決算書 (P372～P373)	10款6項3目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	学校体育施設開放事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
7,396	6,677				2,378 (使用済)	4,299
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	719			126	593	

【目的】

小・中学校の体育施設を活用し、青少年の健全育成及び地域スポーツ等の活動を支援する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

体育施設の適切な維持管理に努め、安全で快適なスポーツ環境を維持する。

○実施内容、これまでの経過等

市立小学校(47校)及び中学校(22校)の体育施設を市民に開放した。

<実施状況>

項目 区分	開放学校数 又は開放学校名	利用期間	主な利用内容
体育館	小学校 47校 中学校 22校 合計 69校 ※予定から小学校が1校減	・月～金曜日… 19:00～21:00 ・土曜日 … 9:00～21:00 ・日曜日 … 9:00～17:00 ※一部学校で異なる場合あり	バレーボール、 バスケットボール、 バドミントン、フットサル、 卓球、剣道、空手道、新体操他
グラウンド	小学校 44校 中学校 12校 合計 56校	・月～金曜日… 5:00～7:00 17:00～日没 ・土曜日 … 5:00～日没 ・日曜日 … 5:00～17:00 ※一部学校で異なる場合あり	野球、サッカー
テニスコート	大潟町中学校	・土、日曜日…8:30～日没	テニス、 ソフトテニス
プール	大島小学校	・7月28日～8月16日…9:30～15:30	水泳

決算書 (P372～P373)	10款6項3目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	学校体育施設開放事業		

<利用実績：延べ人数>

(単位：人)

区分	令和2年度	令和3年度	比較増減
体育館	258,213	370,603	112,390
グラウンド	49,677	63,660	13,983
テニスコート	514	1,125	611
プール	282	310	28
合計	308,686	435,698	127,012

○目標達成状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により学校体育施設開放の中止があったが、利用者が各自新型コロナウイルス感染症対策を講じ、活動を行ったことで、利用者数は令和2年度と比較し、127,012人増加した。

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響があるなか、スポーツ団体に感染防止対策を呼び掛けた上で学校体育施設を開放し、市内のスポーツ団体の定期的な活動を支援することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

令和3年度からスポーツ施設情報提供メールを運用し、新型コロナウイルス感染症に関する情報や施設の利用中止情報などの緊急的な連絡を行った。しかし、まだ登録していないスポーツ団体があるほか、メールの活用を促していくなどの対策を講じる必要がある。

【執行残額について】

○入札差金 126

- ・消耗品費 31
- ・修繕料 22 (備品修繕及び体育館不点灯箇所修繕)
- ・使用料及び賃借料 3
- ・事業用備品購入費 70

○その他 593

- ・報酬 28
- ・報償金 239
- ・費用弁償 10
- ・修繕料 315 (体育館不点灯箇所修繕)
- ・通信運搬費 1

(単位：千円)

決算書 (P372～P373)	10款6項3目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	少年スポーツ活動育成事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
5,313	4,523		580			3,943
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	790		520		270	

【目的】

- ・スポーツを通じて積極的に体を動かす習慣や基礎的な体力を身に付けるとともに、各種目における競技力の向上を目指し、青少年の健全な発達と育成を図る。
- ・日本体育大学との協定に基づき、ジュニア選手の育成・強化など、スポーツ振興に向けた取組を推進する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

少年スポーツ育成事業や育成団体への補助 4,523

○令和3年度目標

各種団体の円滑なスポーツ活動を維持する。

○実施内容、これまでの経過等

各種団体が行う青少年の競技力の向上や指導者の養成などの取組に対して、補助金の交付による支援を行った。

<各種団体への補助金の交付状況>

項目	交付額
上越市スポーツ少年団補助金	218
ジュニアトップアスリート育成強化事業補助金	2,300
地域ジュニア競技スポーツクラブ育成事業補助金(県補助事業)	600
ジュニアスポーツクラブ補助金	1,405
居多まつり武道大会補助金(中止)	-
合計	4,523

※上田市交流事業“野球の日”野球大会(中止)

※日本体育大学との連携事業(中止)

決算書 (P372～P373)	10款6項3目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	少年スポーツ活動育成事業		

○目標達成状況

新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ活動の自粛や各種大会の中止などにより、一部事業は未達成となった。

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ活動を自粛する期間もあったが、各競技団体の活動に対する支援を通じて、青少年の競技力の向上や指導者の養成につなげることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

ジュニア世代の育成強化を図る環境を整えていくため、引き続き上越市スポーツ協会と連携し、各競技団体の活動を支援するとともに、日本体育大学などの専門指導者による研修を充実させていく必要がある。

【執行残額について】

- 事業未実施 520 (新型コロナウイルス感染症の影響による事業中止に伴う減)
 - ・報償費 91
 - ・旅費 193
 - ・食糧費 9
 - ・使用料及び賃借料 60
 - ・負担金補助及び交付金 167
- その他 270 (新型コロナウイルス感染症の影響による事業縮小に伴う減)
 - ・負担金補助及び交付金 270

(単位：千円)

決算書 (P372～P373)	10款6項3目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	一般スポーツ活動推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
44,409	34,973				7,806 (財源収入、譲収入)	27,167
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	9,436		4,639		4,797	

【目的】

- ・市民一人一人が明るく健やかな生活が送れるよう、スポーツに親しむ機会を提供し、健康維持と体力増進を図る。
- ・全国大会及び国際大会等に出場する選手や団体に奨励金を交付し、市民のスポーツ活動の振興を図る。
- ・市民の健康維持や体力づくりに対する意識を醸成するとともに、地域の協調と融和を図る。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

各種補助事業等 33,037

○令和3年度目標

- ・スポーツ教室や大会等への市民参加率：100%以上(延べ参加者数/人口)
- ・国体出場選手：30人以上

○実施内容、これまでの経過等

各競技におけるアスリートの育成・強化のほか、市民が参加しやすいスポーツ教室や大会等を行う各種スポーツ団体に対して、補助金等の交付による支援を行った。

＜補助金等の交付状況＞

事業名	交付額
県駅伝競走大会補助金	481
ビーチラグビー大会補助金(中止)	-
ビーチバレーボール大会補助金	183
市民スポーツ祭補助金	589
高田城ロードレース大会補助金(中止)	3,321
えちご・くびき野100kmマラソン交付金(準備年)	2,634
スポーツ指導者養成事業補助金	480
スポーツアスリート育成強化事業補助金	156
上越市スポーツ協会運営費補助金	7,206

決算書 (P372～P373)	10款6項3目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	一般スポーツ活動推進事業		

事業名	交付額
スポーツ施設借上料等補助金	923
やすづかスポーツ大会補助金 (中止)	-
レルヒカップスキー大会補助金	425
牧区体育祭補助金 (中止)	-
米山山麓ロードレース大会交付金 (中止)	184
大潟区体育祭補助金 (中止)	-
くびき総合スポーツフェスタ補助金 (中止)	38
吉川区体育祭補助金 (中止)	-
スカイスポーツ大会交付金 (中止)	17
中郷区体育祭補助金 (中止)	-
中郷歩くスキーとクロスカントリースキー大会補助金	168
松ヶ峯トリムマラソン大会補助金 (中止)	-
清里区体育祭補助金 (中止)	-
清里区冬季スポーツ大会交流会補助金 (中止)	-
三和区スポーツ大会補助金 (中止)	-
名立区駅伝競走大会補助金 (中止)	-
名立区歩こまいか名立補助金	48
名立区不動山登山補助金	50
スカイスポーツ大会事業費補填金 (中止)	17
全国高等学校総合体育大会上越市実行委員会交付金	13,921
合 計	30,841

<スポーツ教室や大会等の参加状況>

(単位：人)

項 目	延べ参加者数
上越市スポーツ協会及び加盟団体の主催事業	39,745
総合型地域スポーツクラブの主催事業	26,895
上越市スポーツ少年団の主催事業	405
上越市スポーツ推進委員による活動	3,442
その他各種スポーツイベント	2,171
合 計	72,658
参加率 (延べ参加者数/人口※令和4年3月末現在)	39.1%

決算書 (P372～P373)	10款6項3目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	一般スポーツ活動推進事業		

<全国高等学校総合体育大会>

高等学校体育連盟、競技団体、市及び関係機関等で構成する令和3年度全国高等学校総合体育大会上越市実行委員会（令和2年6月19日設立）において、開催に向けた取組を推進し、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、当市が受け持つ競技別種目大会の弓道と体操競技を開催した。

	弓道	体操
競技期間・会場	令和3年7月29日～8月1日 新潟県立武道館「謙信公武道館」	令和3年8月9日～8月11日 リージョンプラザ上越
大会関係者数	選手・監督 218校 1,052人 役員・補助員等 487人	選手・監督 208校 949人 役員・補助員等 670人

<国体種目及び出場選手数の状況>

- ・スキー 11人
- ・アイスホッケー 3人

○目標達成状況

新型コロナウイルス感染症の影響により、高田城ロードレース大会や第76回国民体育大会夏季大会「三重とこわか国体」等の大会が中止となり、未達成となった。

スポーツ振興奨励金 1,936

○令和3年度目標

- ・交付件数 青少年：個人 161件、団体 14件
成人：個人 42件、団体 4件

○実施内容、これまでの経過等

全国大会及び国際大会へ出場する選手や団体に対して、奨励金を交付した。（全国大会：個人 10千円、団体 50千円、国際大会：個人 30千円、団体 150千円）

- ・交付件数（実績） 青少年：個人 127件、団体 7件
成人：個人 24件、団体 0件

○目標達成状況

新型コロナウイルス感染症の影響により、夏季国民体育大会が中止となり、未達成となった。

ファミリー綱引大会 0

○令和3年度目標

市民の健康維持や体力づくりに対する意識を醸成するとともに、地域の協調と融和を図る。

- ・参加チーム数：40チーム以上

決算書 (P372～P373)	10款6項3目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	一般スポーツ活動推進事業		

○実施内容、これまでの経過等

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年11月21日(日)に開催を予定していた第38回大会を中止した。

○目標達成状況

大会の中止に伴い、未達成となった。

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染症の影響により、高田城ロードレース大会やファミリー綱引大会等の大規模イベントは中止となったが、少人数で行う各種スポーツ教室や講座、大会等を支援し、感染症対策を講じながら開催することにより、市民の健康維持と体力増進に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

新しい生活様式を踏まえたスポーツ教室やイベントの実施、大会の開催を支援することで、市民のスポーツ活動の推進や健康意識の啓発に取り組むほか、持続的にスポーツ活動の機会を提供するため、上越市スポーツ協会や総合型地域スポーツクラブと連携し、各競技団体等の組織や相互連携の維持・強化を促進する必要がある。

【執行残額について】

○事業未実施 4,639 (新型コロナウイルス感染症の影響による事業中止に伴う減)

- ・報償費 267
- ・消耗品費 82
- ・食糧費 6
- ・役務費 51
- ・委託料 60
- ・負担金補助及び交付金 4,173

○その他 4,797

- ・報酬 178
- ・職員手当等 1
- ・共済費 31
- ・報償費 1,630
- ・消耗品費 1
- ・役務費 4
- ・旅費 14
- ・負担金補助及び交付金 2,938

(単位：千円)

決算書 (P372～P373)	10款6項3目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	地域スポーツクラブ育成事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,075	3,265		284			2,981
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	810	35			775	

【目的】

- ・各競技スポーツ関連団体と連携を図りながら、小学校の課外活動及び中学校の部活動に専門的な指導技術力を有する外部指導者を派遣し、スポーツ活動の推進と競技力の向上を図る。
- ・地域に根差したスポーツ活動を推進するため、地域住民が主体となって生涯スポーツを実践する総合型地域スポーツクラブの活動を支援する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

スポーツ活動サポート事業 3,154

○令和3年度目標

小・中学校への指導者派遣回数：延べ1,264回

○実施内容、これまでの経過等

児童・生徒の競技力向上のため、専門的な知識と技術を持つ外部指導者を派遣し、小・中学校のスポーツ活動を支援した。

<小・中学校への指導者派遣状況>

区分	令和2年度		令和3年度		比較増減	
	場所	回数	場所	回数	場所	回数
小学校	4か所	18回	11か所	67回	7か所	49回
中学校	17か所	1,042回	17か所	961回	0	△81回
合計	21か所	1,060回	28か所	1,028回	7か所	△32回

○目標達成状況

新型コロナウイルス感染症の影響により、陸上や水泳の大会が2年連続で中止となったことで指導者の派遣要請を見送る学校が多かったことに加え、第6波の影響により、令和4年2月、3月の派遣実績が少なかったことから未達成となった。

決算書 (P372～P373)	10款6項3目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	地域スポーツクラブ育成事業		

総合型地域スポーツクラブの育成 111

○令和3年度目標

市内の総合型地域スポーツクラブと連携し、地域スポーツ活動を推進する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・令和3年4月4日（日）に総合型地域スポーツクラブ、上越市スポーツ協会、上越市スポーツ推進委員会の代表者が一同に会して情報交換や連携を図るための会議を実施した。
- ・令和3年11月28日（日）に市内総合型地域スポーツクラブ間の課題の共有、知識・スキルアップのため、（公財）新潟県スポーツ協会及び上越SCネットとの共催により「スポーツ推進のための地域ミーティング」と題して総合型地域スポーツクラブ研修会を実施した。
- ・総合型地域スポーツクラブの未設置区域（大島区・牧区）において、スポーツに親しむ機会を提供するため、スポーツ推進委員と連携し「いきいきスポーツ教室」を開催した。

○目標達成状況

総合型地域スポーツクラブと市内スポーツ団体が連携を図る機会を提供することで、地域におけるスポーツ活動の活性化につなげることができた。

<総合型地域スポーツクラブの設立状況>

設立数：12クラブ（令和4年3月31日現在）

内 訳：津有北部、高土、北諏訪、安塚区、浦川原区、柿崎区、大潟区、頸城区、中郷区、板倉区、三和区、名立区

【事業の成果】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、小・中学校への指導者の派遣回数は減少したものの、各学校の感染予防対策を遵守しながら、スポーツ活動を支援することができた。
- ・市内におけるスポーツ団体間の連携を図る会議や市内総合型地域スポーツクラブ間の課題の共有、知識・スキルアップのための研修を実施することで、総合型地域スポーツクラブの活動を支援することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・小、中学校におけるスポーツ活動の指導体制を踏まえ、各競技団体と連携し、専門的な指導技術を有する外部指導者を派遣し、スポーツ活動の推進と競技力の向上を図るため、運動部活動を支援する必要がある。
- ・会員数の減少などにより、スポーツクラブの体制を維持していくことが困難になりつつあることから、総合型地域スポーツクラブが組織的な連携を図り、持続可能なスポーツ活動の普及推進ができる体制の構築を促す必要がある。

決算書 (P372～P373)	10 款 6 項 3 目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	地域スポーツクラブ育成事業		

【執行残額について】

- 事業費節減 35 (研修会を県スポーツ協会、上越SCネットと共催したことによる減)
 - ・報償費 15
 - ・旅費 13
 - ・消耗品費 7
- その他 775
 - ・報償費 708
 - ・役務費 67

(単位：千円)

決算書 (P372～P375)	10 款 6 項 3 目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
35,319	34,940		8,027		694 (諸収入)	26,219
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	379				379	

【目的】

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの直前合宿や聖火リレー、交流事業などを実施することで、スポーツ交流人口の拡大や市民の競技力の向上を図るとともに、市民がオリンピック・パラリンピックを身近なものとして感じ、スポーツをきっかけとした健康な心身の醸成を図る。

令和 3 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和 3 年度目標

- ・新型コロナウイルス感染症対策を含めたドイツ体操チームの受入体制を整え、万全の状態で開催される東京オリンピックに臨めるよう直前合宿を実施するとともに、ホストタウンを契機とした大会後の交流として、ドイツU-18 柔道チームの合宿受入れを行う。
- ・東京 2020 オリンピック聖火リレーやパラリンピック聖火フェスティバルなど東京 2020 大会に関連する各種の取組は、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、多くの市民が参画できるよう工夫し、大会全体の盛り上げに寄与する。
- ・ドイツに関連したイベントの開催や周知活動などを通じ、ドイツに対する市民の理解や親近感を更に深める。

○実施内容、これまでの経過等

(1) ドイツ体操チームの直前合宿受入れ 18,147

東京 2020 オリンピック・パラリンピックに出場するドイツ体操チームの大会直前合宿を当市で受け入れた。市民との交流として、小学生によるオンラインでの練習見学やインタビュー、市民による手作りのお土産贈呈等を行った。

- ・合宿期間：令和 3 年 7 月 9 日（金）から 23 日（金）（14 泊 15 日）
- ・受入人数：21 人（選手 10 人（男女各 5 人）、コーチ・医師等 11 人）
- ・練習会場：上越市立上越体操場ジムリーナ

決算書 (P372～P375)	10款6項3目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業		



市民によるジムリーナでのお出迎え



小学生とのオンライン交流

(2) ドイツU-18 柔道チームの合宿受入れ 0

新型コロナウイルス感染症の影響により、合宿の受入れを中止した。

(3) 東京2020オリンピック聖火リレーの実施 5,621

当日は強風の影響により一部の催しが中止となったが、子どもたちを始めとした多くの市民が聖火リレーの実施に携わった。

- ・実施日：令和3年6月4日（金）
- ・スタート地点：謙信公大通り西詰（上越市立春日小学校前）
- ・ゴール地点：リージョンプラザ上越
- ・ランナー人数：12人（総走行距離約2.6km）
- ・観覧者数：沿道の観覧者：1,800人、ミニセレブレーション観覧者：124人



ゴール地点でのミニセレブレーション



市内小中学生が作成したオリジナル横断幕

決算書 (P372～P375)	10 款 6 項 3 目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業		

(4) 東京 2020 パラリンピック聖火フェスティバルの実施 1,082

8 月 12 日に、市内中学生が「日本スキー発祥の火」から「上越市未来への火」を採火し、市役所木田庁舎や各区総合事務所で展示（GROW UP ACTION）を行ったのち、8 月 15 日に、展示していた「上越市未来への火」を「集火式」で一つの「上越市の火」へと集火した。

- ・採火：令和 3 年 8 月 12 日（木）（日本スキー発祥記念館）
- ・GROW UP ACTION：8 月 12 日（木）～14 日（土）
（市役所木田庁舎、各区総合事務所、オーレンプラザほか）
- ・上越市「集火式」：8 月 15 日（日）（オーレンプラザ）
- ・「上越市の火」の展示：8 月 15 日（日）～16 日（月）（謙信公武道館）
- ・参加者数：採火や集火式に参加した中学生や展示会場への来場者等 1,627 人



採火の様子



上越市「集火式」の様子

(5) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック関連イベント及び周知活動の実施 723

東京 2020 パラリンピックに出場した、本市出身の石浦智美選手を応援する取組を行ったほか、日本財団パラスポーツセンターが主催する「あすチャレ！スクール」の実施を通じて、子どもたちの共生社会への理解を深めた。

<石浦選手の応援の取組>

- ・市役所木田第一庁舎へ出場内定を祝う懸垂幕の掲出（5 月 24 日）
- ・北諏訪小学校の児童による競技観戦・応援（8 月 27 日）
- ・市役所木田第一庁舎へ入賞を祝う懸垂幕の掲出（9 月 6 日）
- ・市長表敬訪問時の市民ホールでのお出迎え（9 月 27 日）
- ・北諏訪小学校でのパラリンピックの報告会（9 月 28 日）

<日本財団パラスポーツサポートセンター「あすチャレ！スクール」の実施>

パラリンピック男子車いすバスケットボール元日本代表（4 大会出場）の神保康広さんを講師に招き、デモンストレーションや代表生徒による体験、講師による講話を行った。

- ・実施校：黒田小、高志小、国府小、高田西小、名立中・潮陵中（合同実施）

決算書 (P372～P375)	10 款 6 項 3 目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業		



北諏訪小学校での応援の様子



車いすバスケットボールの体験

(6) 上越市ホストタウンサポーターの運営 66

上越市ホストタウンサポーター制度に登録したサポーターが、ドイツ体操チームの合宿やパラリンピック聖火フェスティバルの運営をサポートした。

- ・登録人数：129人、1団体（令和4年2月1日現在）
- ・活動状況：令和3年5月：聖火リレールートクリーン隊
 令和3年6月：聖火リレーミニセレブレーション運営サポート隊
 令和3年7月：ドイツ体操チームを手作りのお土産でおもてなし隊
 令和3年7月：ドイツ体操チーム合宿サポート隊
 令和3年8月：パラリンピック聖火フェスティバル運営サポート隊



ドイツ体操チームを手作りのお土産でおもてなし隊



ドイツ体操チーム合宿サポート隊

(7) 国際交流員の任用及びドイツ文化を知る交流事業の実施 4,413

ドイツ文化の情報発信や合宿受入れ時の通訳や選手のサポートを担うドイツ人国際交流員を継続して任用し、市民を対象としたイベントや小中学校への訪問授業を実施してドイツ文化の周知活動を行った。

(8) その他 4,888

ホストタウン推進事業に従事する会計年度任用職員を任用した。

決算書 (P372～P375)	10款6項3目 体育振興費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業		

○目標達成状況

- ・ドイツ体操チームの受入体制を整備し、東京2020オリンピックの直前合宿を実施したほか、歓迎やお土産贈呈、オンラインでの交流等により市民のおもてなしの心を伝えた。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施したオリンピック聖火リレーやパラリンピック聖火フェスティバルの取組を通じて、東京2020オリンピック・パラリンピックに対する市民の機運を高め、大会全体の盛り上げに寄与した。
- ・ドイツに関連した小中学校への出前授業やイベント等により、市民のドイツ文化に対する親近感を深め、国際理解や多文化共生の推進を図った。
- ・11月にドイツU-18柔道チームの合宿受入れを検討していたが、新型コロナウイルス感染拡大による入国制限の緩和の見通しが立たなかったことから中止した。

【事業の成果】

ドイツ体操チームの直前合宿や聖火リレー関連のイベント等を実施し、東京2020オリンピック・パラリンピックという世紀の祭典に対する市民の機運醸成を図るとともに、国際交流への関心を深めた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

東京2020オリンピック・パラリンピックにおけるホストタウンの取組の成果を生かし、スポーツの振興を図るとともに、引き続き市民の国際交流への関心や共生社会への理解を深める。

【執行残額について】

○その他 379

- ・報酬 77
- ・共済費 83
- ・報償費 8
- ・旅費 108
- ・消耗品費 68
- ・食糧費 25
- ・役務費 1
- ・使用料及び賃借料 9

(単位：千円)

決算書 (P374～P375)	10款6項4目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,182,835	1,028,886	21,500		567,400	106,700 (繰越金、諸収入)	333,286
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
147,831	6,118			5,931	187	

【目的】

市民の健康増進、スポーツ活動の普及促進及び競技力の向上を図るため、安全かつ快適なスポーツ環境を提供する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

上越市総合体育館等大規模改修工事に着手するほか、柿崎区総合体育館や中郷総合体育館など、体育施設の機能の維持・向上を図る。

○実施内容、これまでの経過等

・主な工事等

施設名	金額	実施内容
上越市総合体育館 上越勤労身体障害者体育館	839,974	・大規模改修工事 517,370 ・大規模改修電気設備工事 115,234 ・大規模改修機械設備工事 196,645 ・工事監理委託 10,725
上越総合運動公園	3,862	・テニスコート塗装修繕及び クラック改修工事
高田城址公園弓道場	2,376	・屋根塗装工事
金谷山公園	176	・看板設置工事
柿崎総合体育館	30,800	・照明設備取替工事
中郷総合体育館	22,231	・照明設備取替工事
頸城B&G海洋センター	3,245	・照明設備取替工事
大潟体育センター	3,188	・トイレ改修工事

決算書 (P374～P375)	10款6項4目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設整備事業		

○目標達成状況

- ・上越市総合体育館及び上越勤労身体障害者体育館の大規模改修工事を完了したほか、柿崎総合体育館及び中郷総合体育館の照明設備取替工事(LED化)について計画どおりに実施できた。
- ・その他の整備工事についてもおおむね計画どおり実施できた。

【事業の成果】

施設の老朽化に伴う修繕工事や機能の維持・拡充のための改修工事に取り組み、安全で快適なスポーツ環境を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

施設の老朽化が年々進んでいく状況を踏まえ、市民ニーズに適したスポーツ環境を将来にわたって持続できるよう、上越市公の施設の適正配置計画に基づき、計画的な整備を進めていく必要がある。

【執行残額について】

○入札差金	5,931
・消耗品費	21
・委託料	3,387
・工事請負費	193
・備品購入費	2,330
○その他	187
・旅費	35
・役務費	95
・工事請負費	57

(単位：千円)

決算書 (P374～P377)	10款6項4目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
386,238	371,279			34,100	26,833 (使用料、財産収入、 諸収入)	310,346
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	14,959		337	1,600	13,022	

【目的】

市民の健康増進、スポーツ活動の普及促進及び競技力の向上を図るため、安全かつ快適なスポーツ環境を提供する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

(指定管理施設：合併前上越市)

○指定管理の状況

指定管理施設 (19施設)	上越市総合体育館、上越勤労身体障害者体育館、スポーツ公園(多目的運動広場、庭球場、野球場)、上越市藤野野球場、上越市びょうぶ谷野球場、上越市庭球コート、上越市少年野球場、上越市春日山ペタンク場、上越市高田スポーツセンター、高田城址公園(野球場、陸上競技場、庭球場、弓道場)、上越市今泉スポーツ広場(野球場、多目的広場)、上越総合運動公園(テニスコート)、上越市教育プラザ体育館
制度導入年度	平成20年度
指定管理者名	一般財団法人 上越市スポーツ協会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
自主事業	体力づくり運動教室、キッズ運動大好き教室、女性のためのフィットネス教室、健康体操教室の開催

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			計画	実績
利用者数	417,521人	210,756人	484,050人	271,855人

決算書 (P374～P377)	10款6項4目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設管理運営費		

令和3年度は、総合体育館と勤労身体障害者体育館の大規模改修工事の実施による休館と新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度と比較して145,666人減少したが、スポーツ活動の再開に伴い、令和2年度と比較して61,099人増加した。

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予 算	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	施設管理運営業務委託料※1	54,027	54,007	56,276	55,979
	修繕工事減収補填金	405	-	-	-
	新型コロナウイルス感染症減収補填金※2	1,116	2,171	-	-
	その他	13,718	8,778	14,971	13,616
	合計	69,266	64,956	71,247	69,595
③公費投入額(②-①)		69,266	64,956	71,247	69,595
④利用者1人当たりの公費投入額(単位:円)		166	308	147	256

※1 総合体育館及び勤労身体障害者体育館大規模改修工事と新型コロナウイルス感染症の影響による指定管理料の見直しを協定に基づき行ったもの

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により、利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの

(参考) 指定管理者の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	26,997	21,325	20,529	18,476
	施設管理運営業務委託料※1	54,027	54,007	54,007	55,979
	修繕工事減収補填金	405	-	-	-
	新型コロナウイルス感染症減収補填金※2	1,116	2,171	-	-
	その他	5,571	7,472	3,077	3,310
	合計	88,116	84,975	77,613	77,765
②支出		90,007	86,071	80,028	77,858
差引(①-②)		△1,891	△1,096	△2,415	△93

※1 総合体育館及び勤労身体障害者体育館大規模改修工事と新型コロナウイルス感染症の影響による指定管理料の見直しを協定に基づき行ったもの

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により、利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの

決算書 (P374～P377)	10款6項4目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設管理運営費		

(指定管理施設：柿崎区)

○指定管理の状況

指定管理施設 (5施設)	上越市柿崎総合体育館、柿崎総合運動公園(野球場、グラウンド、人工芝グラウンド)、上越市柿崎屋内水泳プール
制度導入年度	平成20年度
指定管理者名	新東産業 株式会社
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
自主事業	いきいき健康体操&ストレッチ教室、男性のための体操教室、さわやかフィットネス教室、初心者ジョギング講座、トランポピクス教室、キッズ体操教室、骨盤呼吸体操、各種スポーツ大会の開催

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた一部行事(かきざきドームフェスティバル)を中止した。

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			計画	実績
利用者数	92,167人	55,978人	120,000人	69,995人

令和3年度は、柿崎屋内水泳プールの休止により、プール利用者数は0人であったが、スポーツ活動の再開に伴い、令和2年度と比較して14,017人増加した。

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
			予算	実績	
① 収入	-	-	-	-	
② 支出	施設管理運営業務委託料※1	44,500	44,390	38,645	34,167
	新型コロナウイルス感染症減収補填金※2	193	0	0	0
	その他	5,125	2,431	2,810	2,456
	合計	49,818	46,821	41,455	36,623
③ 公費投入額(②-①)	49,818	46,821	41,455	36,623	
④ 利用者1人当たりの公費投入額(単位:円)	541	836	345	523	

※1 柿崎屋内水泳プールの休止により、協定に基づき指定管理料の見直しを行ったもの

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により、利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの

決算書 (P374～P377)	10款6項4目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設管理運営費		

(参考) 指定管理者の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	6,913	5,190	7,000	5,964
	施設管理運営業務 委託料※1	44,500	44,390	44,390	34,167
	新型コロナウイルス 感染症減収補填金※2	193	-	-	-
	その他	2,866	2,235	3,956	2,033
	合計	54,472	51,815	55,346	42,164
②支出		56,258	48,784	55,346	42,122
差引 (①-②)		△1,786	3,031	0	42

※1 柿崎屋内水泳プールの休止により、協定に基づき指定管理料の見直しを行ったもの

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により、利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの

(直営施設)

○施設の管理実績

・市直営施設数 (令和4年3月末現在)

区 分	体育館	野球場	テニスコート	多目的広場	プールほか	計
合併前上越市	1	-	-	2	4	7
13区	15	3	4	8	14	44
合計	16	3	4	10	18	51

・利用者数

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			計 画	実 績
利用者数	284,098人	188,212人	272,100人	288,620人

令和3年度は、上越市ユートピアくびき条例による体育施設を新しく所管したことやスポーツ活動の再開に伴い、令和2年度と比較して100,408人増加した。

決算書 (P374～P377)	10款6項4目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	11,547	13,180	27,557	21,171
	その他	6,076	3,372	48,007	39,762
	合計	17,623	16,552	75,564	60,933
②支出	維持管理費	140,662	143,827	282,158	265,061
	うち委託料	60,468	74,746	101,341	90,231
	その他	-	-	-	-
	合計	140,662	143,827	282,158	265,061
③公費投入額 (②-①)		123,039	127,275	206,594	204,128
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		433	676	759	707

<参考：体育施設全体の状況>

・スポーツ推進課所管施設数（令和3年度末現在） ()内は指定管理施設数

区 分	体育館	野球場	テニスコート	多目的広場	プールほか	計
合併前上越市	5 (4)	6 (6)	4 (4)	4 (2)	7 (3)	26 (19)
13区	16 (1)	4 (1)	4 (0)	10 (2)	15 (1)	49 (5)
合計	21 (5)	10 (7)	8 (4)	14 (4)	22 (4)	75 (24)

※上越市立オールシーズンプールを除く

【事業の成果】

- ・日常的な通常点検や専門的な定期点検等を踏まえ、重要度や緊急度の高い修繕等を優先的に実施し、安全なスポーツ環境を維持することができた。
- ・利用者数が少なく、老朽化が著しい浦川原運動広場野球場及びトレーニング棟並びに清里中学校屋外運動場の照明設備の供用を廃止し、体育施設の適正配置を図った。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・安全で快適なスポーツ環境を維持していくため、経年劣化による修繕はもとより、ルール改正に基づく施設改修や備品の更新など、計画的に取り組んでいく必要がある。
- ・安心してスポーツ活動に取り組めるよう、新しい生活様式を取り入れた感染症対策に引き続き取り組んでいく。

決算書 (P374～P377)	10款6項4目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設管理運営費		

【執行残額について】

- 事業未実施 337 (柿崎屋内水泳プールの休止に伴う残)
 - ・修繕料 238
 - ・使用料及び賃借料 99
- 入札差金 1,600
 - ・修繕料 64
 - ・役務費 1
 - ・委託料 1,032 (施設管理委託料の減)
 - ・使用料及び賃借料 45
 - ・工事請負費 351
 - ・備品購入費 107
- その他 13,022
 - ・報酬等 1,226 (管理人報酬等の減)
 - ・光熱水費等 1,504 (電気、水道等使用量の減)
 - ・修繕料 496
 - ・役務費 424
 - ・委託料 8,321 (施設管理運営業務委託料等の減)
 - ・使用料及び賃借料 841
 - ・原材料費 198
 - ・備品購入費 1
 - ・負担金補助及び交付金 10
 - ・公課費 1

決算書 (P374～P377)	10款6項4目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設管理運営費		

<参考資料>

・体育施設利用状況

(単位：人)

No.	区分	施設名	管理区分	令和2年度	令和3年度	差引増減	
				利用人数	利用人数	利用人数	
1	合併前上越市	総合体育館	指定管理	51,941	11,184	△ 40,757	
2		勤労身体障害者体育館	指定管理	16,248	3,435	△ 12,813	
3		高田スポーツセンター	指定管理	24,408	34,858	10,450	
4		教育プラザ体育館	指定管理	33,193	66,477	33,284	
5		高田城址公園野球場	昼間	指定管理	3,164	6,899	3,735
			ナイター	指定管理	689	1,566	877
6		今泉スポーツ広場野球場	昼間	指定管理	2,871	4,589	1,718
			ナイター	指定管理	447	319	△ 128
7		スポーツ公園野球場	昼間	指定管理	2,486	5,224	2,738
			ナイター	指定管理	1,738	3,244	1,506
8		藤野野球場	昼間	指定管理	1,864	2,922	1,058
			ナイター	指定管理	1,523	3,625	2,102
9		びょうぶ谷野球場	昼間	指定管理	2,446	3,653	1,207
			ナイター	指定管理	1,503	3,803	2,300
10		少年野球場	指定管理	6,304	9,366	3,062	
11		スポーツ公園多目的広場	指定管理	2,330	8,335	6,005	
12		今泉スポーツ広場多目的広場	指定管理	3,037	7,413	4,376	
13		教育プラザ多目的広場	直営	3,340	3,210	△ 130	
14		東埠頭緑地多目的広場	直営	3,919	5,605	1,686	
15		上越総合運動公園テニスコート	昼間	指定管理	7,790	17,647	9,857
			ナイター	指定管理	3,630	3,353	△ 277
16		高田公園庭球場(第1・3)	昼間	指定管理	5,691	11,253	5,562
			ナイター	指定管理	1,879	3,045	1,166
17		スポーツ公園庭球コート	昼間	指定管理	3,504	4,585	1,081
			ナイター	指定管理	119	128	9
18		上越市庭球コート	指定管理	74	4	△ 70	
19		高田城址公園陸上競技場	指定管理	25,007	46,888	21,881	
20		高田城址公園弓道場	指定管理	6,870	8,040	1,170	
21		春日山ベタンク場	指定管理	0	0	0	
22		直江津海岸ビーチバレーコート	直営	2,488	3,147	659	
23	高田西小学校屋外運動場	ナイター 直営	1,600	4,045	2,445		
24	春日中学校屋外運動場	ナイター 直営	1,828	3,798	1,970		
25	直江津東中学校屋外運動場	ナイター 直営	2,987	2,855	△ 132		
26	保倉体育館	直営	7,283	6,709	△ 574		
27	安塚	安塚B&G海洋センター	プール以外	直営	1,191	1,394	203
28			プール	直営	481	677	196
29	安塚和田スポーツ公園	グラウンド	昼間 直営	1,324	895	△ 429	
30	浦川原	浦川原体育館	直営	12,652	18,155	5,503	
31		浦川原運動広場	野球場	昼間 直営	509	131	△ 378
			ナイター 直営	924	466	△ 458	
32		トレーニング棟	直営	867	1,336	469	
33	浦川原プール	直営	318	235	△ 83		
34	大島	大島多目的ホール	直営	2,660	4,866	2,206	
35	牧	牧体育館	直営	6,657	6,346	△ 311	
36		牧プール	直営	366	936	570	

決算書 (P374～P377)	10款6項4目 体育施設費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	体育施設管理運営費		

No.	区分	施設名		管理区分	令和2年度	令和3年度	差引増減	
					利用人数	利用人数	利用人数	
37	柿崎	柿崎総合体育館		指定管理	39,618	48,577	8,959	
38		柿崎体育館		直営	4,751	5,005	254	
39		柿崎総合運動公園	野球場	昼間	指定管理	1,793	2,703	910
				ナイター	指定管理	598	751	153
40			グラウンド	昼間	指定管理	2,689	3,020	331
41			人工芝グラウンド	昼間	指定管理	7,441	11,084	3,643
		ナイター		指定管理	2,367	3,860	1,493	
42		柿崎第1庭球コート		昼間	直営	4,848	5,546	698
				ナイター	直営	2,792	4,112	1,320
43		柿崎ゲートボール場		直営	96	96	0	
44		柿崎屋内水泳プール		指定管理	1,472	0	△ 1,472	
45		大潟	大潟体育センター		直営	7,079	8,000	921
46			大潟運動広場		直営	1,849	2,772	923
47			大潟体操アリーナ		直営	11,486	12,434	948
—	大潟町中学校屋外テニスコート		ナイター	直営	393	—	△ 393	
48	上越体操場（ジムリーナ）		直営	43,789	38,467	△ 5,322		
—	頸城	頸城明治野球場		直営	7	—	△ 7	
49		頸城B & G海洋センター	アリーナ		直営	—	7,536	7,536
50			トレーニングルーム		直営	—	6,000	6,000
51			ミーティングルーム		直営	—	720	720
52			プール		直営	—	12,901	12,901
53		いきいきコート		直営	—	5,198	5,198	
54		くびき球場		直営	—	5,615	5,615	
55		テニスコート		直営	—	63	63	
56		ふれあいグラウンド		直営	—	15,049	15,049	
57		ゲートボールコート		直営	—	65	65	
58	吉川	吉川体育館		直営	3,596	4,842	1,246	
59		吉川野球場		直営	680	704	24	
60		吉川テニスコート		昼間	直営	433	576	143
				ナイター	直営	497	970	473
61	中郷	中郷総合体育館		直営	3,918	5,298	1,380	
62		中郷総合運動公園	屋外運動場		直営	673	1,370	697
63			ゲートボール場		直営	500	728	228
64	板倉	板倉農業者トレーニングセンター		直営	8,759	22,734	13,975	
65		板倉北部スポーツセンター		直営	6,281	5,224	△ 1,057	
66		板倉運動広場	昼間	直営	1,205	455	△ 750	
67		板倉庭球コート		直営	22	27	5	
68		板倉ふれあいゲートボール場		直営	1,574	1,517	△ 57	
69	清里	清里スポーツセンター		直営	15,087	24,153	9,066	
70		清里スポーツ公園	グラウンド		直営	1,527	2,076	549
—			テニスコート		直営	105	—	△ 105
71		清里中学校屋外運動場		ナイター	直営	155	1,060	905
72	三和	三和体育館		直営	8,296	11,770	3,474	
73		三和スポーツセンター		直営	2,550	5,617	3,067	
74		三和西部スポーツハウス		直営	2,859	3,420	561	
75		三和スポーツ公園グラウンド		直営	1,011	1,694	683	
合計					454,946	630,470	175,524	

※大潟町中学校屋外テニスコートの照明設備、頸城明治野球場、清里スポーツ公園テニスコート及びひなさき運動広場は、令和2年度末をもって廃止

(単位：千円)

決算書 (P376～P377)	10款6項5目 オールシーズンプール費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	オールシーズンプール管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
38,520	38,519					38,519
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1			1		

【目的】

市民の健康増進、水泳の普及促進及び競技力の向上を図るため、安全かつ快適なスポーツ環境を提供する。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○指定管理の状況

制度導入年度	平成17年度
指定管理者名	株式会社 新潟ビルサービス
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
自主事業	各種水泳教室(小・中学生教室、成人教室、幼児教室、短期教室、資格テスト、水すましの会) 各種行事等(親子水遊び体験会、新春初泳ぎレクリエーション、成人・幼児1日体験教室)

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、予定していた一部行事(上越市立オールシーズンプール水泳競技大会、わんぱく水遊び天国、スイムスキルアップ教室)を中止した。

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			計画	実績
利用者数	84,613人	57,805人	92,000人	62,369人

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、施設の休館、自主事業の中止や縮小、青少年のスポーツ活動の自粛に伴い、令和元年度と比較して22,244人減少したが、令和2年度と比較して4,564人増加した。

決算書 (P376～P377)	10款6項5目 オールシーズンプール費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	オールシーズンプール管理運営費		

○指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				予 算	実 績
①収入		—	—	—	—
②支出	施設管理運営業務委託料※1	25,060	25,060	31,230	31,230
	新型コロナウイルス感染症減収補填金※2	629	4,891	1,509	1,509
	工事による減収補填※3	—	—	399	399
	その他	2,502	2,434	5,382	5,381
	合計	28,191	32,385	38,520	38,519
③公費投入額 (②-①)		28,191	32,385	38,520	38,519
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)		333	560	419	618

※1 新型コロナウイルス感染拡大により指定管理料の見直しを行ったもの

※2 新型コロナウイルス感染拡大により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填するもの

※3 プール内モルタル剥離部分修復工事の実施により休館 (1/5 から 1/31) したことから、協定に基づき減収分を補填するもの

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	35,131	24,005	37,847	25,963
	施設管理運営業務委託料※1	25,060	25,060	25,060	31,230
	新型コロナウイルス感染症減収補填金※2	629	4,891	0	1,509
	工事による減収補填※3	—	—	0	399
	その他	2,808	1,549	1,929	1,968
	合計	63,628	55,505	64,836	61,069
②支出		66,038	57,764	64,836	61,830
差引 (①-②)		△2,410	△2,259	0	△761

※1 新型コロナウイルス感染拡大により指定管理料の見直しを行ったもの

※2 新型コロナウイルス感染拡大により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填するもの

※3 プール内モルタル剥離部分修復工事の実施により休館 (1/5 から 1/31) したことから、協定に基づき減収分を補填するもの

決算書 (P376～P377)	10款6項5目 オールシーズンプール費	所管課等	スポーツ推進課
事業名	オールシーズンプール管理運営費		

【事業の成果】

新型コロナウイルス感染拡大により、利用者数は令和元年度に比べて3割程度減少したが、スポーツ活動の再開により、令和2年度より1割程度回復した。新しい生活様式を踏まえた感染拡大防止対策によって、幅広い世代で水泳の普及促進が図られ、選手の競技力の向上や市民の健康増進に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

昭和51年に建設した施設であり、大規模改修工事の実施を検討する時期にあることから、将来的な施設の在り方を整理していく必要がある。

【執行残額について】

- 入札差金 1
 - ・修繕料、委託料

(単位：千円)

決算書 (P376～P379)	10 款 6 項 6 目 学校給食管理費	所管課等	教育総務課
事業名	学校給食費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,564,387	1,556,765	4,513			845,346 (譲入)	706,906
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	7,622			48	7,574	

【目的】

栄養バランスのとれた安全でおいしい給食を提供する。

令和 3 年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和 3 年度目標

- ・「上越市異物混入対応マニュアル」及び「学校における食物アレルギー対応の手引き」に基づき、給食調理における異物混入やアレルギー事故の発生防止を徹底するとともに、万一事案が発生した際には児童生徒の安全を最優先に適切かつ統一的に対応する。
- ・給食で使用する野菜の年間見込量や使用時期、出荷計画等の情報を生産者や納入業者、JA えちご上越等と共有し、青果物市場への出荷品目や出荷量を拡大する等、地場産野菜の使用拡大に向けた取組を進める。(第 3 次食育推進計画使用率目標 20%以上)
- ・学校給食調理業務委託を新たに 1 校 1 園(諏訪小学校、高田幼稚園)で実施する。(合計 57 校 1 センター 1 園)

○実施内容、これまでの経過等

(1) 異物混入防止

- ・調理員による納入時の検収、調理作業前や調理中、配食時の目視確認、学校管理職による調理完了後の検食などにより異物混入の防止に努めた。
- ・異物混入状況の多くは納入された食材の中に混入していた異物を調理段階で発見したものであった。

<異物混入発生状況>

(単位：件)

年度 混入物	令和 2 年度		令和 3 年度	
	件数	うち経口 事案	件数	うち経口 事案
金属片・ガラス等	1	0	4	0
毛、虫、糸等	103	6	133	9
合計	104	6	137	9

決算書 (P376～P379)	10款6項6目 学校給食管理費	所管課等	教育総務課
事業名	学校給食費		

(2) アレルギー対応

- ・入学時及び毎年度調査を実施し、対応が必要な場合は主治医の指示・診断（「学校生活管理指導表」又は診断書・検査結果・口頭指示）に基づき、アレルギー事故を起こさないよう保護者、学校と連携し対応した。
- ・「学校における食物アレルギー対応の手引き（令和2年1月改訂）」に基づき、除去食・代替食等の対応を行ったほか、配膳の食器を変えてアレルギー事故の防止に努めた。
- ・納品時の検収の徹底を図ったほか、アレルギー対応当日チェックと食品成分表のアレルゲンの確認等の作業を複数人で行った。

<食物アレルギー給食対応者・食物アレルギー報告者の状況（各年度5月1日現在）>

年度	児童生徒数	給食対応人数				報告人数			アナフィラキシー有	エピペン処方有
		小学校	中学校	合計	割合	小学校	中学校	合計		
令和2年度	13,510人	181人 (43/50校)	94人 (18/22校)	275人 (61/72校)	2.04%	304人 (49/50校)	172人 (20/22校)	476人 (69/72校)	49人 (10.29%)	48人 (10.08%)
令和3年度	13,289人	192人 (43/48校)	96人 (20/22校)	288人 (63/70校)	2.17%	329人 (45/48校)	181人 (22/22校)	510人 (67/70校)	63人 (12.35%)	54人 (10.59%)

<食物アレルギーの誤飲・誤食の件数>

年度	件数	アレルギー対応有	エピペン使用	受診有	原因
令和3年度	1	1	0	0	・栄養士が作成したアレルギー対応表にアレルゲン（乳）の記載がなく、職員間において、対応者の当日の給食対応の確認が行われなかったことにより、アレルゲン（発酵乳）を摂取した…1（症状なし）

(3) 地場産野菜の使用

- ・学校給食献立に郷土料理や地場産物を使用するふるさと献立の日を毎月設け、上越の食文化や郷土料理を学ぶ機会を提供し、食育を推進した。
- ・地場産野菜の使用を拡大するため、給食で使用する野菜の年間見込量や使用時期、出荷計画等について関係団体と情報共有を図った。

決算書 (P376～P379)	10 款 6 項 6 目 学校給食管理費	所管課等	教育総務課
事業名	学校給食費		

<学校給食における地場産野菜の使用状況>

(単位：kg、%)

	令和2年度			令和3年度		
	給食使用量	うち地場産	使用割合	給食使用量	うち地場産	使用割合
合併前上越市	209,331.40	23,785.50	11.36	213,635.40	34,054.90	15.94
安塚	2,249.34	186.20	8.28	2,196.10	322.44	14.68
浦川原	5,519.84	1,066.28	19.32	5,067.22	622.54	12.29
大島	1,976.74	295.39	14.94	1,952.92	261.93	13.41
牧	2,448.58	330.80	13.51	2,403.42	103.00	4.29
柿崎	10,284.40	1,149.90	11.18	9,344.96	1,451.32	15.53
大潟	13,370.01	4,365.90	32.65	13,200.11	5,002.70	37.90
頸城	15,333.21	3,245.70	21.17	16,346.19	5,114.50	31.29
吉川	5,207.30	161.23	3.10	5,002.35	253.00	5.06
中郷	4,597.48	628.14	13.66	4,619.03	659.10	14.27
板倉	12,581.18	385.51	3.06	9,801.95	616.30	6.29
清里	4,486.52	745.49	16.62	4,336.11	1,457.75	33.62
三和	10,320.61	3,199.23	31.00	10,184.95	3,497.93	34.34
名立	3,594.60	633.27	17.62	3,797.83	1,005.66	26.48
13区計	91,969.81	16,393.04	17.82	88,253.14	20,368.17	23.08
市全体	301,301.21	40,178.54	13.34	301,888.54	54,423.07	18.03

(4) 民間委託

- ・新たに、諏訪小学校及び高田幼稚園を民間委託に移行し、実施済みの56校1センターと合わせ、合計57校1センター1園となった。
- ・57校1センター1園における民間委託料は590,726千円で、直営で見込まれる試算額774,000千円に対し183,274千円の削減となった。

(5) 放射性物質検査

- ・東日本大震災における原子力発電所での事故を受け、給食用食材の安全性を確認し、給食に対する保護者等の不安を軽減するため、放射性物質検査を実施した。
- ・平成24年2月の検査開始から令和4年3月末までの間、放射性物質の検出は1件もなく、安全性が確認されたことから令和3年度をもって放射性物質検査を終了した。
(総検査回数1,491回、延べ品目数4,661品目)

決算書 (P376～P379)	10款6項6目 学校給食管理費	所管課等	教育総務課
事業名	学校給食費		

(6) 給食費

- ・学校と連携しながら、保護者に対し徴収方法の周知を図るとともに、未納者に対し催告を行った。

<学校給食費徴収状況>

(単位：円)

		調定額	収納額	未納額 (延べ人数)	収納率 (%)	
						令和2年度
小 中 学 校	現年度分	849,686,547	843,839,727	5,846,820 (289)	99.31	99.32
	過年度分	17,517,110	1,607,178	15,909,932 (516)	9.17	12.92
	小計	867,203,657	845,446,905	21,756,752 (805)	97.49	97.94
幼稚園		1,506,616	1,506,616	0 (0)	100.00	100.00
合計		868,710,273	846,953,521	21,756,752 (805)	97.50	97.94

※ 給食費月額 小学校 4,890円 中学校 5,680円 幼稚園 4,500円

※ 高田幼稚園給食費のみ、令和元年10月分から一部副食費免除あり

○目標達成状況

- ・異物混入については、混入件数及び経口事案が前年度より増加したものの、調理工程での確認を徹底し除去に努めた。
- ・地場産野菜の使用拡大に向け、献立作成と地場産野菜の生育状況・出荷予定との調整を行い発注するなどしたが、生産物の品質や量が確保できず、使用率目標を達成できなかった。
- ・学校給食調理業務の民間委託は、予定どおり新たに1校1園で実施した。

【事業の成果】

- ・異物混入防止のため、洗浄や調理、数量確認時等、調理作業全体を通じて、目視点検を徹底し、納入された食材に混入した異物を給食提供前に除去することに努めた。
- ・主食の米は、上越市産100%のつきあかりの無洗米を安定して使用することができた。
- ・学校給食調理業務の民間委託を目標の57校1センター1園に拡大し、経費の削減に努めた。
- ・給食用食材の放射性物質検査を実施し、給食の安全性を確認することにより、保護者の不安を軽減することができた。
- ・給食費の未納者に対して催告を行ったほか、児童手当からの徴収案内を送付するなど徴収に努めた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・異物混入やアレルギー事故の防止については、引き続き関係者による情報共有を確実にを行い、調理中及び学級での配膳時の確認を徹底するとともに、万一事故が発生した際に適切に対応できるようマニュアル遵守の徹底を図る。
- ・地場産野菜の使用拡大については、引き続き給食で使用する野菜の年間見込量や使用時期、生産者からの供給可能作物やその出荷時期等の情報を共有し、献立作成・発注を行う。
- ・給食費の未納について、児童手当からの徴収制度を引き続き活用するとともに、催告を適切に行い、現年度中の徴収に努める。

決算書 (P376～P379)	10款6項6目 学校給食管理費	所管課等	教育総務課
事業名	学校給食費		

【執行残額について】

- 入札差金 48
 - ・施設管理委託料
- その他 7,574
 - ・報酬、職員手当等、共済費、
報償費、旅費 922
 - ・消耗品費 3,259
 - ・備品修繕料 514
 - ・委託料 1,720
 - ・手数料ほか 1,159

(単位：千円)

決算書 (P378～P379)	10款6項6目 学校給食管理費	所管課等	教育総務課
事業名	学校給食センター費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
32,442	29,597					29,597
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,845			30	2,815	

【目的】

栄養バランスのとれた安全でおいしい給食を提供するため、学校給食センター（共同調理場）の維持管理・運営を行う。

令和3年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和3年度目標

- ・衛生管理を徹底し、食中毒や食物アレルギー事故、異物混入を発生させない環境づくりのために必要な整備を行う。

○実施内容、これまでの経過等

- ・大島、牧、柿崎の3センターにおいて、小学校5校、中学校3校の児童・生徒に提供する学校給食の調理及び配送を行った。

<学校給食センターの状況>

センター名	開設年月	受配校	食数	炊飯方式
大島	昭和63年 4月	大島小、大島中	78食	センター炊飯
牧	昭和62年 4月	牧小、牧中	99食	
柿崎	令和 3年 4月	柿崎小、上下浜小、下黒川小、柿崎中	614食	

- ・安全でおいしい給食の提供と学校給食センターの円滑な運営のため、衛生管理及び作業管理上必要な備品の入替え、補充を行うほか、検便の実施、給食運搬委託やボイラー・小荷物専用昇降機等の保守点検委託等を行った。

【備品修繕】 スチームコンベクションオーブン（大島、牧）、炊飯器（大島）、給食運搬車（大島、牧、柿崎）等

【営繕修繕】 配送車車庫シャッター修繕（大島、柿崎）、回転釜かさ上げ及び水栓移設修繕（柿崎）、給湯用補給水減圧弁取替修繕（牧）手洗い器設置修繕（柿崎）等

【備品入替】 なし

決算書 (P378～P379)	10款6項6目 学校給食管理費	所管課等	教育総務課
事業名	学校給食センター費		

○目標達成状況

- ・調理工程での確認を徹底し、給食調理における異物混入やアレルギー事故の防止に努めた。
- ・修繕を計画どおり実施した。

【事業の成果】

- ・異物混入防止に努め、アレルギー事故を発生させることなく、安全で安心な給食を提供することができた。
- ・計画的な修繕により、衛生環境の改善や作業の効率化が図られた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

施設設備の老朽化や衛生管理基準等を踏まえ、引き続き適切に維持管理を行っていく。

【執行残額について】

○入札差金 30

- ・営繕修繕料

○その他 2,815

- ・報酬、職員手当等、共済費 1,556
- ・現業会計年度任用職員費用弁償 151
- ・燃料費 98
- ・手数料 57
- ・委託料 572
- ・備品購入費 300
- ・備品修繕料ほか 81